

# おせんべ草加フォトログ5 with川口 チェックポイント一覧 (2019/3/21開催・草加市文化会館スタート&フィニッシュ)

	<p><b>得点</b> チェックポイント名 この一覧の見本写真とほぼ同じ構図の写真を撮影してください。 チームの場合、撮影者以外の全チーム・メンバーの顔をフレームインさせて撮影してください。</p>		<p><b>13 三町稲荷神社</b> 2015年春にTBS系で放映された草加市が舞台のアニメ「レーカン!」のオープニングに登場した靈感を感じるスポットの一つでした。周囲の団地の再開発に伴い明るい雰囲気が一変しました。</p>		<p><b>24 いちばんどりこみち</b> 草加駅の東口交番をすぎて南北に広がる商店街は、ためぎをモチーフにコミュニティ作りをしているそうで、商店街のあちこちにためぎが出発しています。こみちの北入口にためぎの親子の像があります。</p>		<p><b>47 越戸橋</b> "こいどぼし"と読みます。かつて氾濫をおこした辰井川に架かる橋の一つです。背後にそびえる巨大な鉄塔群は京北変電所。電線マニア垂涎の聖地だそうです。いろんなマニアがいっぱいしゃるんですね。</p>		<p><b>63 安行原の蛇造り</b> 五穀豊穡や無病息災を願い、毎年5月24日に行われる川口市の無形民俗文化財指定行事です。住民たちがをを編んで長さ10メートルもの蛇を作り、ご神木のケヤキの側に一年間据えられます。</p>
	<p><b>3 松尾芭蕉文学碑</b> 平成3年に、ライオンズクラブ埼玉地区が草加市で総会を開催したことを記念して草加市に寄贈しました。「その日やうやう草加といふ宿にたどり着きにけり」の銘文が刻まれています。</p>		<p><b>14 クラインガルテン</b> クラインガルテンとは、19世紀にドイツで開設された集団型・賃貸型の市民農園で、ドイツ語で「小さな庭」の意味です。周辺にお住いの方の有料菜園がここに整備されています。</p>		<p><b>25 草加市立病院</b> 平成16年に現在の地に開設された草加市内の地域医療中核病院です。平成18年には埼玉県が景観形成に貢献している建物などを表彰する「彩の国景観賞」を受賞しました。</p>		<p><b>49 新郷東部公園</b> 辰井川の氾濫を防止するための遊水地を公園として利用しています。大雨の時、広場は池となって付近住民の生活を守ります。水辺の自然、広大な面積の草地、広場を巡るウォーキングコースがあります。</p>		<p><b>65 傑傳(けつでん)寺</b> 江戸時代後期に盛んに信仰されるようになった七福神。このお寺は天領だった武州川口七福神霊場めぐりの恵比寿神です。小高い丘の上まで登ると家内安全・商売繁盛をお祈りしましょう。</p>
	<p><b>4 水原秋桜子句碑</b> 「草紅葉草加煎餅を干しにけり」高浜虚子の高弟、医師でもあった秋桜子が神田から春日部の病院に通勤していた昭和初期に詠んだ作品です。秋桜子は、生涯に一万句以上残したと言われています。</p>		<p><b>15 獨協大学・学生センター</b> 学生会活動の「部室」と、「すべての学生が利用できる開放的な施設」の両機能を備えた建物です。正門から川沿いに眺めた姿は美しく、建築美を感じます。大学正門前の橋の上から撮影してください。</p>		<p><b>26 草加市物産・観光情報センター</b> 草加三大地産産業のせんべい・染物・皮革の展示や紹介、観光情報の提供、散策おすそめコースを案内する「草加宿案内人の会」への申込受付等を行っています。建物の壁の草加宿の浮世絵を撮影してください。</p>		<p><b>50 草加煎餅●購入ポイント</b> 草加せんべいを購入(種類・数は自由、但し自費)して、「草加せんべい」と書かれたお店の看板・のぼり等と商品(チームの場合はメンバーも)と一緒に写真を撮ると50点です。(1度だけ)</p>		<p><b>66 花と緑の振興センター</b> 昭和28年の開園です。植木・果樹などの生産出荷の指導、盆栽などの輸出振興に努めています。2ヘクタール以上の広大な敷地では四季折々の草花が楽しめます。東園の門を撮影してください。</p>
	<p><b>5 まつばら綾瀬川公園</b> 1996年の開園から最近まで「綾瀬川左岸広場」と呼ばれていました。春は桜並木がとても綺麗で、お花見で大人気の公園でもあります。ハーブ橋の北東のたもとから湾曲(わんど)や綾瀬川上流方向を撮影してください。</p>		<p><b>16 天野貞祐記念館</b> 獨協大学創立40周年を記念して2007年に完成しました。建物の西側は「図書館ゾーン」、東側は「教室棟」です。中央の緑のドーム屋根が印象的です。天野貞祐元文部大臣は初代学長です。</p>		<p><b>27 松尾芭蕉像</b> 草加駅東口から高架に沿って南に向かって道を歩くと、奥の細道の旅で初めての宿泊地に草加を選んだ松尾芭蕉の像があります。草加にはもう一体綾瀬川沿いの札場河原公園にも芭蕉像があります。</p>		<p><b>51 安行原自然の森</b> 斜面地にある自然林を生かした広場です。斜面の下の低地を含めた敷地には散策道が整備されていて、様々な種類の植物を見ながら散歩が楽しめます。特に4月に見頃を迎えるヤマブキはおすそめです。</p>		<p><b>67 興禅院・十三佛</b> 室町時代開創とされる古刹の興禅院。紅葉の名所としても有名です。広い境内の雑木林の中に安置された十三体の石仏像のうち、石段坂を下ったところにある薬師如来像を撮影してください。</p>
	<p><b>6 水環</b> 松が634本植わっている下を旧街道敷できる草加松原遊歩道の北端にあるモニュメントです。湿地だったところを埋め立ててできた草加の街はかつて幾度も水害に見舞われた歴史があり、それを克服できた記念碑です。</p>		<p><b>17 東福寺山門</b> 草加宿開設の祖・大川図書により1606年に創建された東福寺。旧日光街道から西へ参道を進むと草加市の指定文化財になっている立派な檜瓦葺(さんがわらぶき)四脚門があります。</p>		<p><b>28 草加せんべいの庭</b> 草加せんべいのテーマパークです。120種類ものせんべいが揃う「せんべい販売コーナー」と36台のせんべい焼き機を備えた人気の「せんべい手焼き体験コーナー」があります。</p>		<p><b>52 峯ヶ岡八幡神社(峯八幡宮)</b> 平安時代に開かれた歴史ある峯八幡宮は安行地区の小高い丘の上にあって、周辺の三十もの村々の総鎮守として栄えました。広い境内には、樹齢約700年の大銀杏など400本余りの樹木が生い茂っています。</p>		<p><b>68 安行氷川神社</b> 安行八景の一つに数えられる「村の鎮守様」と言った存在です。アクセス道路も曲がりくねった細い参道がよい道です。周囲には安行の植木屋さんが多くて苗木などの緑が目につきます。</p>
	<p><b>7 谷古田用水親水公園</b> 用水沿いの道は、草加市の桜の名所の一つです。コイやフナの池、モクスガニやカワエビハゼの姿も確認できるそうです。ザリガニ釣りが子どもたちの人気の遊びどか。</p>		<p><b>18 35周年記念館</b> 1Fに体育館アリーナや多目的スペース、2Fに2千名座れる学生食堂があるとても大きな建物です。獨協大学グラウンドの外から門名を入れて撮影して下さい。</p>		<p><b>30 今様・草加宿(南口)</b> 旧日光街道の風情が残っているうちに、草加宿を再生していきたいとの願いから、平成15年「今様・草加宿」実行委員会ができました。旧草加宿の南北の入口にその活動を示す碑が建てられています。</p>		<p><b>54 密蔵院</b> 川口市内数ある古刹で、参道にある安行桜は春のお彼岸の頃に見頃を迎え観光名所となっています。山門は明治17年に島津家江戸屋敷にあった門を移築したものです。</p>		<p><b>71 金剛寺</b> 山門は桃山様式の茅葺の四脚門で、川口市の指定文化財になっています。墓地には安行植木開発の祖である吉田権之丞の墓があります。お灸の治療施術は幕末の頃からで、「お灸の金剛寺」として知られています。</p>
	<p><b>8 湯屋処まつばら</b> 露天風呂や替わり湯、電気風呂、ジェットバスなど15種類のお風呂やサウナを楽しむことができます。食事処はメニューも豊富で、子供用の食事もあるので、家族で利用しやすい日帰り入浴施設です。</p>		<p><b>19 旭天満宮</b> かつてこの地は新田開発した人名を取って九左衛門新田と呼ばれました。新しく地名を付ける時、「九」の漢字が部首になる「旭」という字が選ばれたそうです。住宅街の中の小さな素朴な神社です。</p>		<p><b>31 ふれあい小路</b> にしまち保育園の裏門通り。お迎えの親御さんと預けられていた園児の再会の場所です。地域の人にも愛される和やかな小路です。「ふれあい小路」と書かれた看板と奥行きのある小路を撮影してください。</p>		<p><b>55 川口緑化センター</b> 植木・花・盆栽・造園などの緑化産業が盛んな川口市安行地区にある植物に関するイベントや、緑に関する情報発信の場です。道の駅も併設されています。</p>		<p><b>72 文化放送送信所</b> ここは元々「赤井台古墳」という前方後円墳があった場所でした。1928年NHK第1放送の送信所として電波塔が建てられ、戦後1951年に文化放送の送信所となりました。</p>
	<p><b>9 草加南水門</b> 綾瀬川が氾濫しそうになった時に草加南・北水門を開けて外環道下にある外環道に沿った長さ約4kmの綾瀬川放水路に水を流入させて、より大きな河川である中川に放流して洪水を防ぎます。</p>		<p><b>20 明治天皇草加行在所記念碑</b> 西郷どんが立案したという明治天皇の全国行脚である行幸。六次巡幸といわれるものうち1876年の東北地方、1881年の東北・北海道地方に向かわれた時には、草加にご滞在になりました。</p>		<p><b>33 峯分橋</b> 綾瀬川支流の伝右川に架かる朱塗りの神橋型の橋です。伝右川沿いの約170本の桜並木とともに風情を漂わせ、市の桜名所にもあげられています。</p>		<p><b>56 東本郷氷川神社</b> もとは東本郷の南にある本郷谷下に鎮座していた神社ですが、大風が吹き、北方の水田に飛ばされて、現在の地に鎮まったとされています。鹿をむき出しにした迫力ある狛犬のいる鳥居を撮影してください。</p>		<p><b>74 赤山城跡</b> 徳川幕府で十二代にわたって関東郡代を務めた伊奈氏は1629年第三代忠治の時にこの地赤山に居を移しました。以来163年間、伊奈氏の拠点となりました。現在も堀と土塁が一部残ります。</p>
	<p><b>10 白菜と人参のオブジェ</b> なぜここに白菜と人参があるのか、なぜその組み合わせなのかはわかりませんが、獨協大学前駅から松原団地再開発地区への入り口の広場にある異様な光景を写真に撮ってお楽しみください。</p>		<p><b>21 (松原団地)D地区センターバス停</b> かつて東洋一の規模を誇った松原団地ですが、建て替え工事が加速度的に進んでいます。その中心部の郵便局や商店のあったD地区センター。多くの人々が乗降したバス停も今は哀愁が漂います。</p>		<p><b>37 パンラック</b> 障がいのある人も楽しく自立した生活をするためにオープンしたホームメイドのパン屋さんです。パンやお菓子を製造・販売しながら、町のパン屋さんとして地域に根ざした活動を行っています。</p>		<p><b>59 安行出羽緑道</b> ウォーキングコースとしての利用が多い、安行出羽公園から安行中道北公園までの約1kmに渡る道路です。川口市の代表的な桜の名所にもなっています。緑道の中に舟のようなものがあります。</p>		<p><b>76 赤山陣屋跡に続く木道</b> 徳川幕府の関東郡代伊奈忠治が、その知行地の赤山領に築城した赤山城。1629年から163年間伊奈氏が所轄する代官所及び居館(陣屋)として存在しました。二の丸に続く竹林脇の木道入口を撮影してください。</p>
	<p><b>11 獨協さくら橋</b> 伝右川に架かる、駅から獨協大学東門に続く通学のための橋です。スロープからは広々とした敷地の獨協大学のキャンパスや建替えの進む松原団地の風景が見渡せます。</p>		<p><b>22 草加バイパスからの伝右川</b> 江戸時代に約上新田(現さいたま市岩槻区)の伝右衛門により新田開発を目的として開削された河川です。当初は伝右衛門堀と呼ばれました。草加バイパスに架かる橋からは約170本の桜並木が見事に見渡せます。</p>		<p><b>42 原第四公園</b> 形がまるでコンパスで描いた円のような公園です。カラフルな遊具が設置されており、ファミリーからお年寄りまで幅広い年代の市民に利用されています。築山に沿ったやや長めの滑り台を撮影してください。</p>		<p><b>60 新郷貝塚</b> 縄文時代後期の大規模な貝塚です。原形を留めている数少ない遺跡で、1メートル以上貝殻が堆積している部分もあり、豊住貝跡や縄文人の骨も発見されています。</p>		<p><b>81 宝蔵院慈林寺</b> 川口市内最古のお寺で、奈良時代に高名な行基により開かれたと伝わっています。この仁王門は文政9年の再建で、江戸時代後期の手法を残した典型的な八脚門として貴重な建造物です。</p>
	<p><b>12 河合曾良(かわいそら)像</b> 草加出身の彫刻家曾良忠彦氏の作品です。曾良は東北・北陸を廻る『奥の細道』の旅に同行した松尾芭蕉の弟子です。少し離れた札場河原公園には、曾良の呼びかけに振り返るような同氏の芭蕉の像もあります。</p>		<p><b>23 北谷町歩道橋</b> 交通量のとても多い草加バイパスに架かる歩道橋上から、東側方向の建て替え終盤の元東洋一の規模を誇った旧松原団地の哀愁漂う姿を撮影してください。</p>		<p><b>44 日本音楽史研究所跡</b> 日本音楽史研究に関する最大級約7万点の史料所蔵を誇った、音楽系大学上野学園大学の付設研究所が市内のこの地にありました。残念ながら2015年末、都内に移転されました。</p>		<p><b>62 赤堀用水沿い斜面林保全緑地</b> 川口市指定の天然記念物であるイチリンソウの自生地があります。毎年イチリンソウの開花に合わせて、一輪草まつりが開催されます。白く可憐なイチリンソウを観賞しようと、毎年多くの人で賑わうそうです。</p>		<p><b>82 イイナパーク川口</b> 2018年春オープンの公園で、エアートランポリン遊具が子供たちに大人気です。将来近く的首都高川口SAと行き来できるようにもなります。この地を治めていた伊奈氏の殿様忠治公の銅像を撮影してください。</p>